

02

「パーマ」の意味

人間の毛髪の主成分はケラチンと呼ばれるタンパク質の一種で、いくつかのアミノ酸が「水素結合」や「シスチン結合」などといったさまざまな方法で結びついて構成されています。

水素結合は水で濡らしたり温めたりするだけで簡単に切れる弱い結合で、乾かしたり冷ましたりすると再び結合します。朝起きたときに寝グセがついているのは、洗髪後の乾燥が不十分だったり寝ている間に汗をかいたりしたために水素結合が切れ、枕に押さえつけられたままの状態^①で乾いて再結合されてしまうからで、濡らして再びその結合を切れれば直すことができます。スタイリング剤はこの原理を利用したのですが、水やアルコールなどで水素結合を切断し、ブローやカーラーで

整えつなぎ直し、それを油や樹脂などで固定するという仕組みで、洗髪すると本来の髪型に戻ります。

一方、シスチン結合は強い結合で、簡単には切ることができません。直毛やくせ毛など一人ひとりの髪質がちがうのは、このシスチン結合のつながり方のちがいによるものです。パーマはこれを化学的に切断し再びつなぎ直すことによって、直毛をウェーブにしたり、くせ毛をストレートにしたりします。通常、1剤と2剤がセットになっていて、まず1剤に含まれるチオグリコール酸塩やシステイン等によって髪^②のシスチン結合を切断し、次に毛髪をロッドに巻いてウェーブをつけたり、のばして真っ直ぐにしたりと、好みのスタイルに整えた後、2剤に含まれる臭素酸塩^③や過酸化水素水等によって再び結合・固定するという仕組みです。ちなみに「パーマ」は英語で“permanent wave”、直訳すると「永久のウェーブ」ですが、永久と言っても実際には、持続期間は1～2ヵ月間くらい（髪質やパーマ液の種類等による）です。（平成15年5月）

<イメージ図>

